

けんぱくものしりシート

し ごと

仕

ごと

事

ぎ

着

2014年6月

なんかつ
たいけんがくじゅうしつ
体験学習室一No.8



仕事着とは、その名前の通り、仕事をする時に着る服のことです。



いま 今から60年くらい前まで、田畠や海、山で働く人びとは、動きやす
かいでついん
解説員 くてじょう夫な仕事着を自分たちの手で作っていました。

仕事着の中でも、農作業をする人の仕事着は「野良着」と呼ばれます。今
からおよそ150年から70年ほど前まで、
はたら ねん まえ しづくいし ち ほう じよせい き のらぎ
働 きやすい上に大変美しいことで知られていました。この野良着を着た女
せい しづくいしあね よ した しゃしん しづくいしあね
性は「雫石姉こ」と呼ばれます。下の写真のように、雫石姉こはさまざま

まえ

うしろ

よこ



なものを身に
み
つけます。それ

らは一つ一つ
ひと ひと
やくわり
に役割があり、

また、いろいろ
もよう
な模様でかざ
られています。

つぎ
次の
ページ

では
しづくいしあね
雫石姉この
のらぎ
いちぶ
野良着の一部
をしょうかい
します。

【あみ笠】
てっぺんに
ついている
4つの色毛玉がおしゃれ。



【シハンコ】
三角に折って
ほほや首を
おおい、日焼けを防ぐ。



【メアテ】
顔につけて草の
先から目を守る。
虫除け・日除けにも良い。



【ミチカ】(上着)



【テッコー】



虫除けのため手に
まく。色糸のししゅ
うが美しい。

【ヒゴモ】



背中に当たる
夏の日差しを
和らげる。



【モモヒギ】(ズボン)
ふくらはぎにぴったり
あ合うように作られる
ので、すそから虫や
どろが入らない。



【シゴキ】(帯)
ふるぬの
古布のリサイクル品。



【マエブリ】(前かけ)



【わらじ】 素足にはく。

しづくいしちほうつか
～零石地方で使われる模様～



『浪』



『絣』

どこに使われているでしょう？

しづくいしちほうのらぎいわて
零石地方の野良着は、岩手
県の宝物 (有形民俗文化財)

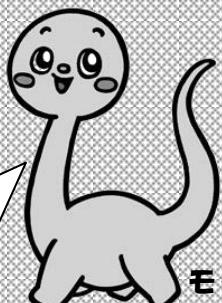
に指定されています。



参考にした本

『岩手の仕事着展』 岩手県立博物館 1985年 / 『中屋弘子 業績集－岩手の農民服と南部家伝来
衣裳－』 中屋重行 1984年 / 『日本の民俗 岩手』 森口多里 1971年

らいげつ がつ
来月 (7月) の
けんぱくものしりシートは
ちしつ 地質-9だよ！
おたのしみに！



モッちゃん



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>